

- ①面 連合は「吉住」、立民は「野沢」に分断 税を考える週間 (11月11日~17日)
- ②面 地域医療を推進/新宿区医師会
- ③面 新宿かしわまつりが11月18日に開催
- ④面 パールホテル新宿曙橋がオープン

新宿新聞

THE SHINJUKU SHINBUN

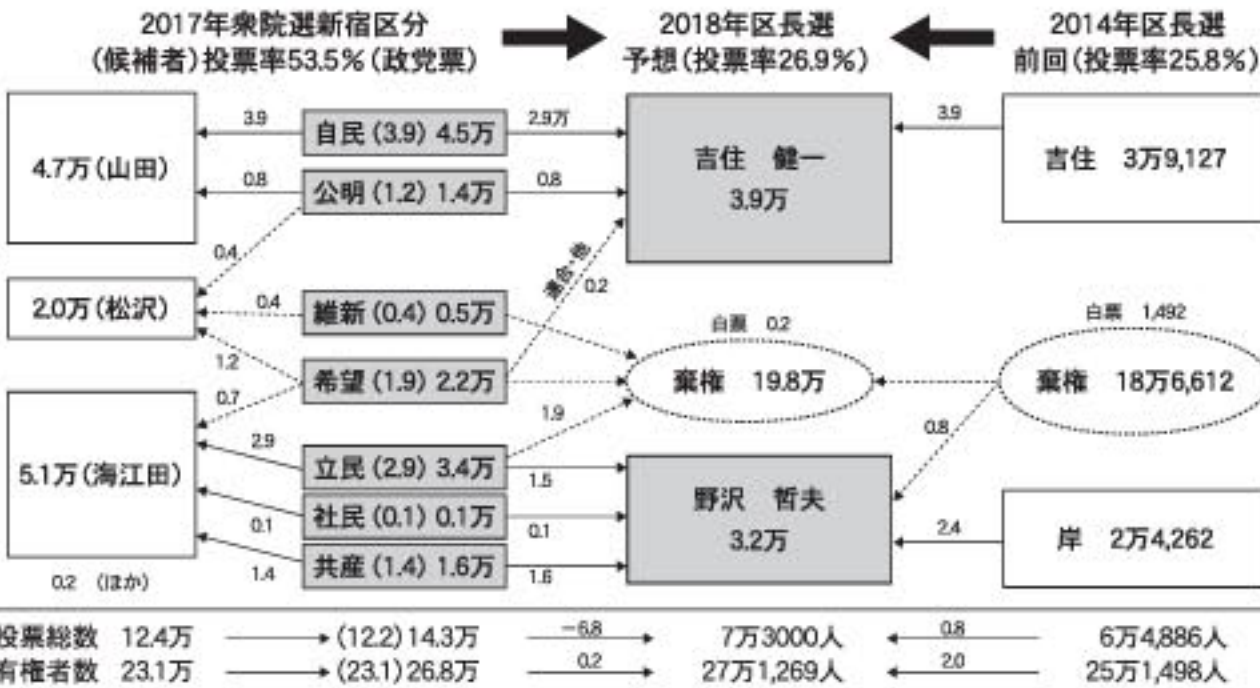
購読料6ヵ月4,000円、毎月5の日発行、創刊64周年 電話3369-6195 F A X 3369-0759 (印刷2018年12月4日第3種郵便物認可)

11月7日 社章
2018年(水曜日)
(第2060号)

発行所
新宿区新聞社
編集・発行人 喜田 勇
新宿区新聞7-7-25
7コーレ新宿第2ビル



新宿区長選の構図



区長選

11月11日 投票日

「吉住」がリード、野沢猛追!!

立民票は分断、海江田動きが鍵

11日投票の区長選は現職・吉住健一と新に動き、立民の協力は得た。だが立民区議4名は人・野沢哲夫の一騎打ち。吉住は自公推薦、野沢は共産・自由・立憲民主・社民ら野党6党支持による保守激突の対決だ。これまでのところ自公の強い組織力で、吉住がリード。前回選挙並みの4万票を叩き出した。一方の野沢は自由、共産を軸に票を叩き出した。一方の野沢は自由、共産を軸に票を叩き出した。一方の野沢は自由、共産を軸に票を叩き出した。

小集会(「新宿区政を語る会」)を10月18日原町ホーム、23日西向大神社、24日花園神社事務所と3回開催。また桑原羊平区議主催の区政報告会を27日ホテルロースターで開いた。11月4日、若松町の選挙事務所で行われた告示第一声には前回選挙並みの約3百人が集って氣勢を上げた。ただ組織は固めたもの

の対立候補は共産党単独の推薦候補(岸まづえ氏)とは異なり野党6党の支持を得た。候補は、一候補だ。昨年の衆院選東京1区では自公連立候補の山田美樹氏は野党統一候補(立民の海江田万里

氏)に対し、支持層0.8万、連合東目、社民(24日)は推し、京や無党派系などその推しより弱い形での支持。他0.4万だった。今回の選挙は自民支持層ではこの野党間の協力度合いの差が打ち消すための鍵となる。上乗せ(2.9万票)でも現職候補が野党統一候補からの支持が落ち込み、統一候補は公明支持票(0.8万)は変わらず。前回の3.9万票となりそう。

有権者は2万人増 今年11月3日時点の右側数は27万1千2百69人。4年前の選挙(25万人)に比べ2万人増。区長選の対立は「自主判断」に委ねることを確認。告示日4日に行われた新宿区西口の街頭演説に立憲民主の海江田区議員、社民の河野達男区議員が弁士として初めて参加したことで、6野党共闘の陣容が固まった。

激突!! 票差「縮む」

統一候補同士の一騎打ち

持を得た統一候補だ。昨年の衆院選東京1区では自公連立候補の山田美樹氏は野党統一候補(立民の海江田万里

持を得た統一候補だ。昨年の衆院選東京1区では自公連立候補の山田美樹氏は野党統一候補(立民の海江田万里

持を得た統一候補だ。昨年の衆院選東京1区では自公連立候補の山田美樹氏は野党統一候補(立民の海江田万里

新宿区長選候補者

吉住 健一 (現職) 46歳
自民・公明・新宿区民の会 推薦

野沢 哲夫 (新人) 52歳
共産・自由・立憲民主・社民・新社会党・緑の党 支持



6野党幹部が揃った新宿西口の街頭演説

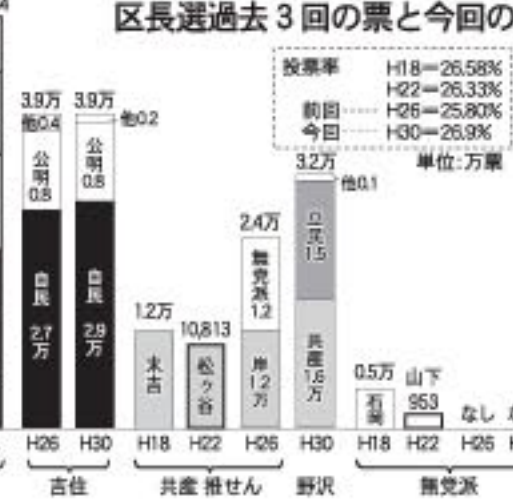
6野党共闘「支持」に違い

立民区議の参加は一人

一方の野民、共産、社民、自由、立憲民主、で、野党共闘を実現させ、勝利した海江田氏は、新宿区内で自公推薦の山田氏を4千票上回った。この支持の時の投票率は53.5%。得ての出無党派が区政選挙に馬、昨年、かに参加するかがわか

ただ立憲民主の支持組織である連合東京が吉住推薦を決める中、野党共闘が実現したとはいえ、各党の協力度合いにはバ

ただ立憲民主の支持組織である連合東京が吉住推薦を決める中、野党共闘が実現したとはいえ、各党の協力度合いにはバ



区長選過去3回の票と今回の票

投票率 H18=26.58% H22=26.33% H30=26.80% 今回=26.9%